

# 『認知症予防ドック』開設にあたって

## ●～認知症の予防・早期発見に重点をおいた人間ドックです～

認知症とは認知機能低下、つまり「もの忘れ」や「時間、場所が分からなくなる」などの症状から始まり、次第に進行して10年ぐらいで寝たきりとなり衰弱して死にいたる病気です。人口の高齢化に伴い認知症の患者さんは増えており、2025年には約700万人（65歳以上の5人に1人）にも上ると予想されています。しかし、認知症は単なる加齢で起こるものではなく、あくまでも脳の病気です。認知症の中で約60%を占めるアルツハイマー病は脳にアミロイドβというごみがたまって、記憶をつかさどる「海馬」という脳の部分が障害され、次第に脳全体に広がり様々な症状が現れます。一旦発症すると、進行を少し遅らせることが出来るのみで、残念ながら現在有効な治療法がありません。

アルツハイマー病の場合は発症の15～20年前より脳の変化が始まっており、50歳ぐらいからの予防が理想的ですが、年をとっても認知症発症の前段階「軽度認知障害」で適切な予防をすれば、治す事も出来ますし、少なくとも発症をずっと遅らせることができます。

認知症の予防は、本人の元気で長生き「健康寿命」を実現するだけではなく、大切な家族にとっても「介護」の必要がなくなります。50歳代以降の方で、「もの忘れ」が気になる方は是非この認知症予防ドックをご活用ください。お待ちしております。